

ロサンゼルス郡 成人の結核リスク評価

- 結核感染検査にはこのツールを使って無症状の成人を識別してください。
- 再検査は以前に陰性と判定され、前回の評価以降に**新たな**危険因子がある人にだけ対面で行われます。
- 結核の症状または活動性結核と一致する胸部レントゲンに異常あり→活動性結核を評価する
活動性結核の完全評価には：症状のスクリーニング検査、胸部レントゲン検査、指示があれば、喀痰の抗酸菌塗抹検査、培養検査、核酸増幅検査が含まれます。ツベルクリン反応検査またはインターフェロン γ 遊離試験で陰性であっても活動性結核を否定することはできません。

以下の該当する危険因子の欄にチェックを入れてください。

4つのうち1つでもチェックを入れた場合は、結核菌感染の検査を受けてください。検査結果が陽性で、活動性結核ではないと診断された場合、結核感染症治療が推奨されます。

結核罹患率の高い国での出生、旅行、滞在が1ヶ月以上ある。

- アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドまたは北欧諸国以外の国を含む。
- このグループ内で医療資源の優先順位付けが必要な場合、症状が進行するリスクが少なくとも1つある患者を優先する(リストはファクトシートを参照のこと)。
- アメリカで生まれた2歳以上の人はツベルクリン反応検査よりもインターフェロン γ 遊離試験が推奨される。

免疫抑制（現在または計画中）。

- HIV感染、臓器移植レシピエント、TNFa拮抗薬(例:インフリキシマブ、エタネルセプト、その他、プレドニゾンと同等のステロイドを1日15mg以上、1ヶ月以上投与)またはその他の免疫抑制薬による治療を受けている。

感染性のある結核患者と一度でも濃厚接触をした。

- アメリカ疾病予防管理センターは接触者の評価と感染者の治療がアメリカの結核撲滅への戦略の重要な要素であることを示しています。

ホームレスまたは投獄歴がある。

- アメリカ予防医療専門委員会(USPSTF)は、リスクの高い集団生活環境(ホームレスシェルターや矯正施設など)で生活をしたことのある人など、暴露リスクの増加に基づき結核感染リスクが高まる集団のスクリーニング検査を推奨しています。

該当なし;現時点では、結核の検査を受ける必要ありません。

医療従事者: _____

評価日: _____

患者名: _____

生年月日: _____

(シールはここに貼ってください)

このツールの使い方についての詳細は、[ロサンゼルス郡成人の結核リスク評価ガイド](#)をご覧ください。

www.ctca.orgに載せられているPROVIDERSのページにある、カリフォルニア州結核リスク評価をロサンゼルス

郡用に編集しています。最新版を確認するには<http://publichealth.lacounty.gov/tb/providertoolkit.htm>をご覧ください。